



伊藤 文博
 行政サービス向上、地域活性化
 に向けた庁内連携強化企画力
 強化職員能力向上及び外部
 との連携強化について

行政サービス向上、地域活性化に向けた
 庁内連携強化、企画力強化、職員能力
 向上及び外部との連携強化について

質問

次の点について伺う。
 ・高齢者福祉に関する健康増
 進施策の連携や、児童福祉

に関する事業の庁内連携に
 ついて

・ジオパークの活用に関する
 国、県との連携、国内外各
 地域との連携について
 ・陳情型行政から脱却し、市
 職員企画力を高め、自ら
 仕事を作っていく体質に改
 善していくことについて



鈴木 勢子
 障がい者
 交通手段と支援について

障がい者
 交通手段と支援について

質問

社会的弱者と言われる人た
 ちが毎日の生活の中で困って
 いることの1つに交通手段の
 確保が挙げられる。当市にお

ける障がい者への交通手段確
 保は、十分な対応とは言えな
 いのではないのか。

また、高齢者への支援も
 年々後退しているが、高齢者
 が引きこもりにならないため
 にも、支援の拡大が必要では
 ないか。

・行財政改革の根本的課題で
 ある職員の意識改革の取り
 組み、行財政改革推進の具
 体的施策について

市長答弁

高齢者福祉事業に関する連
 携については、高齢者の健康診
 査や介護予防アンケート調査
 の結果を担当部署間で共有
 し、健康管理や介護予防に役
 立っている。また、家庭状況等
 の情報については教育委員会
 と福祉事務所で共有し、要支
 援家庭に関する支援の連携を
 図っているところである。

ジオパークについては、国土

市長答弁

障がい者の交通手段の確保
 については、現制度への意見を
 頂いているところでもあり、そ
 の見直しの検討を進めている。
 高齢者への支援については、
 対象年齢の75歳から70歳への
 引き下げや、半年間のバス乗
 り放題定期券の補助を実施し
 ており、外出支援は有効である
 と考えている。



交通省や環境省等がジオパー
 ク活動に配慮した取り組みを
 行っているほか、各省庁が参加
 するジオパーク委員会を通じ
 て連携を深めている。県につい
 ては、糸魚川地域振興局の各
 種取り組みへの参加等、密接な
 連携を図っている。また、国内
 外の連携についても、日本ジオ
 パークネットワークにおいて普
 及啓発を推進すると共に、国
 内外各地域との相互交流をは
 じめ、連携強化に取り組んでい
 るところである。

職員の体質改善について、地
 方自治体の自己決定、自己責
 任という地域主権の流れの中

慎重さに欠ける放射性物質を
 含む汚泥受け入れについて

質問

放射性物質を含む汚泥を市
 内セメント会社2社が受け入
 れることについて、市長は了
 承する意向を示しているが、
 その安全の確保の状況は。低
 線量の内部被ばくはないと判
 断しているようだが、10年
 先、20年先のことについて責
 任を持てるのか。また、市議
 会が全会一致で可決した「放
 射性物質を含む汚泥処理につ
 いての意見書」について、ど

で自ら考え、外部と連携した
 業務の推進が必要になってき
 ているなど、仕事の進め方の改
 善は図られてきていると思っ
 ている。

行財政改革について、その推
 進には職員の意識改革が重要
 と捉えており、市民ニーズを把
 握し、自ら率先して行動し、市
 民に信頼される職員となるこ
 とを目指し、職員人材育成基
 本方針に基づき、今後も継続
 して人材育成を進めていき
 たい。

のように受け止めているのか。

市長答弁

受け入れ処理が行われるの
 は廃棄物処理法が適用される
 1キログラム当たり100ベクレル
 以下のものであり、実質的な影
 響はないものと考えている。市
 議会の可決は重く受け止めて
 おり、測定体制の強化や、排出
 元・企業・市の3者で協定を結
 ぶ中で、市民の安全安心に努め
 ていきたい。

《その他質問項目》

・子育て一貫教育と地域格
 差について